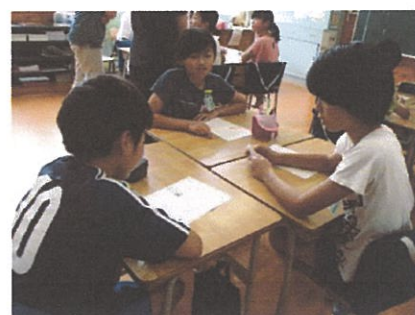


平成29年度  
熊本県「生きる力」を育む研究指定校（心の教育研究推進校）

## 研究主題

# 「乙女の宝」を育てる道徳教育の創造 ～乙女スタイルの授業づくりを通して～



## 「乙女の宝」とは

乙女小学校では、「相手の立場や気持ちを考え、ともに生きる豊かな心をもつ子ども」を育てることを目指しています。本研究テーマにある「乙女の宝」とは、そんな「乙女の子どもたち」そのものであり、係る文言を以下のように捉えています。

「相手の立場や気持ちを考え（る）」とは、相手の立場や気持ちを推察し、その思いに心を寄せ、気持ちを重ねて考えること。

「ともに生きる」とは、多種多様な考えをもつ仲間同士、相手の思いを尊重しつつ、自分自身の気持ちに素直に生きるということ。

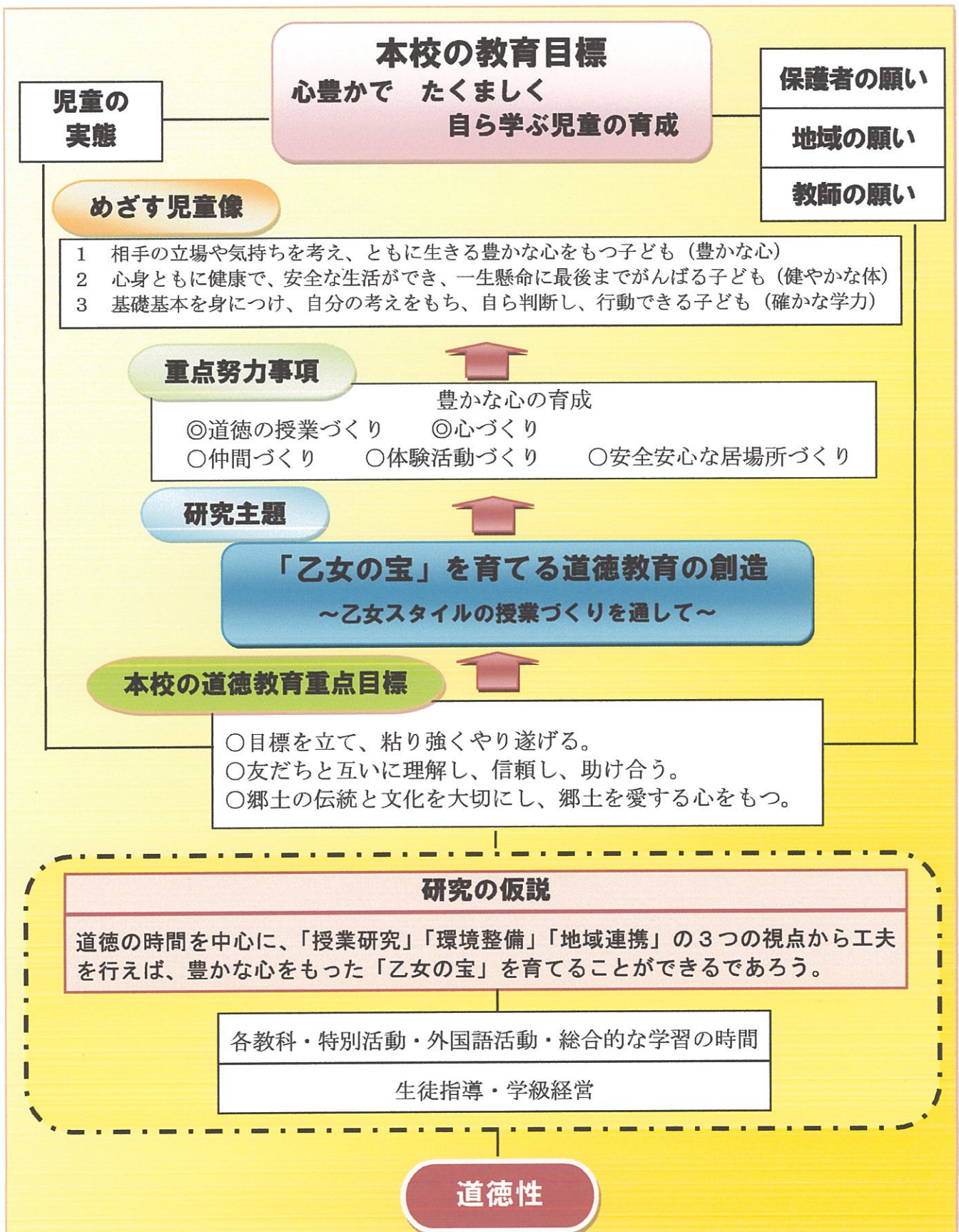
「豊かな心をもつ」とは、感情豊かに、素直に自分の気持ちを表現し、次の自分の行動へとつなげていくこと。

昨年度までの取組で培ってきた「乙女スタイル」の授業づくりを柱として、年間35時間の道徳の時間を中心に、子どもたちによりよく生きるための基盤となる道徳性を養っていきたいと考えます。

周囲の仲間との関わりの中で、教材を通して自分自身を見つめ直していく姿、そして、その根幹にある「ふるさと乙女」を大切に思う子どもたちの心を感じていただければと思います。

## 甲佐町立乙女小学校

# ☆研究の構想☆



## 研究の仮説

### <視点1>授業研究

- ・「特別の教科 道徳」（道徳科）の趣旨・内容を踏まえた授業において、「乙女スタイル」の授業づくりを確立していけば、自己を見つめ、生き方について考えを深めることができるだろう。
- ・継続的に「道徳ノート」の活用を図れば、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、指導や評価に生かすことができるだろう。

### <視点2>環境整備

- ・掲示物を工夫し、「乙女の宝集会」を通して異学年間の交流を図れば、学びが広がり、道徳の時間と生活をつなぐことができるだろう。

### <視点3>地域連携

- ・「熊本的心」を活用した道徳の授業を地域や保護者に公開し、GTとして参加や協力をしてもらうことで、家庭や地域とよりつながることができるだろう。
- ・「熊本的心」や「わたしたちの道徳」等の家庭での活用を促せば、学校と家庭、そして家族のつながりを深めることができるだろう。

## ☆研究の実際☆

### <視点1> 授業研究

#### 乙女スタイルの授業づくり

本校では、道徳教育の要としての道徳の授業を創るにあたっての基本的な考え方を「乙女スタイル」として設定した。

#### 乙女スタイル

向き合う

「道徳的価値」と  
向き合う

課題（めあて）の  
提示

「自分」と  
向き合う

明確な意思表示

他者の感じ方や  
考え方と向き合う

話し合い活動

深める

教材をもとに  
考えを深める

発問の工夫

自分との関わりで  
考えを深める

「自分」を振り返る  
時間の確保

ふるさと乙女を大切に思う心